

Social Workers

社大OB・OGがつむぐ福祉の絆

ソーシャルワーカーズ

2011

7
月

Vol.4



介護ニーズに応える起業

起業にあたって「社大」の
風土・人脈が大きかった



たか はし よし たか
高橋 義孝さん

株式会社 ケアクオリティ
代表取締役社長
公益社団法人
日本認知症グループホーム協会
常務理事・静岡県支部長

ソーシャルワーカーの業務には
住民のニーズに応え、
新しいサービス、新しい事業を
開拓、起業する機能もあります。



ふじ の まさ のぶ
藤野 将睦さん

障害者自立支援法
東京都指定 居宅介護事業所
ビーサイドユー株式会社
代表取締役

職員が安心できる体制で
長く働いてもらうことが大切

在宅生活をコーディネートするソーシャルワーカー

—介護にかかわるスタッフ自身が幸せであること—

ふじの まさのぶ
藤野 将睦さん

社会福祉士

障害者自立支援法 東京都指定 居宅介護事業所
ビーサイドユー株式会社 代表取締役

社会福祉学部福祉計画学科

2006年3月卒

専門職大学院

2007年3月卒



PROFILE

1982年小平市生まれ
卒業後は3年半ほど
介護ヘルパーとして活動
2010年7月ビーサイドユー(株)設立
同年11月居宅介護事業所
「ビーサイドユー」オープン



地域との交流を図るレンタルボックス

地域で過ごせる 環境をつくる

「ふれあいどり」商店街を歩くこと3分。サロン風のドアを開けると、藤野さんと職員の方々が出迎えてくれました。

「先月結婚したばかりです」と少し照れながら教えてくれた藤野さんは29歳。居宅介護事業所を自ら立ち上げオープンしてから1年半が過ぎ、非常勤も含めて職員は16人、登録ヘルパーも100人に増えました。

寄り添うという意味の「ビーサイドユー」の名前の通り、ここは障害のある方が自宅で生活するための支援をする居宅介護事業所で、訪問介護や相談対応をしています。「もう、障がいのある人たちが親亡き後は施設で過ごすという時代ではなく、その人の自立を地域の人たちが見守る」という意味で、訪問介護や相談対応をしています。

藤野さんが日本社会事業大学に入学した1年生の夏休み、市民ボランティアとして参加した子どもキャンプで、心に残る出来事がありました。ボランティアの一人に主任児童委員の方がいて、キャンプの打ち上げの中に、相談電話を受けて飛び出して行つたのです。「どんな状況でも、「今から行くわ」と。その一言に私の福祉マインドが大きく揺さぶられました。何のためにこの大学に入ったのか、自らの使命を悟った瞬間でした」。

福祉マインドに 火がついた時

藤野さんは日本社会事業大学志す学生には、児童福祉、高齢者福祉といった、分野にこだわらず「マルチ人間であれ」とアドバイスします。現場ではさまざまな対応を求められるからです。

「私の場合、大学の基礎知識を加えて、福祉への熱い気持ちと人脈が起業につながったと思います。学生だからこそつくれる人間関係があります。失敗してもいい、学生時代にはたくさん経験をしてもらいたいですね」。藤野さんが力強く見据える先は、まだまだ広がっています。

よろず相談所としての ソーシャルワーカーで ありたい

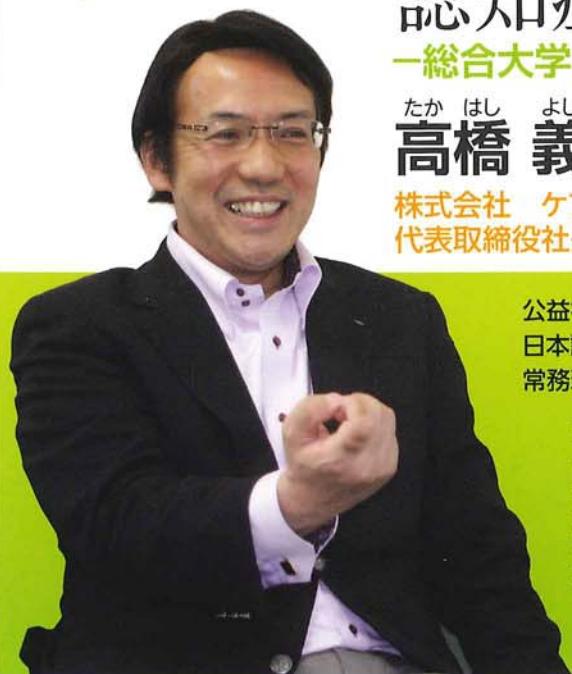
「経営者として会社として大切なのは、スタッフ自身が幸せであることです」。

在宅でヘルプを頼む方々のすべてを受け止めるためには、スタッフが安定した体制で長く働けること。同じスタッフが長く勤めることで、利用する人に安心感と信頼感が生まれるのです。



地域にも開放する予定の社員食堂

社会福祉学部社会事業学科
1985年3月卒



ニーズに応えて 認知症グループホームを起業

—総合大学では得られない風土—

たか はし よし たか
高橋 義孝さん

社会福祉士 介護支援専門員

株式会社 ケアクオリティ
代表取締役社長

公益社団法人
日本認知症グループホーム協会
常務理事・静岡県支部長

PROFILE

1960年静岡市生まれ
静岡県社会福祉協議会、
医療法人勤務などを経て
2002年(株)日本ケアクオリティ設立
2008年(株)ケアクオリティ設立



6つのグループ ホームを運営

新幹線の静岡駅北口から徒歩10分。ビルの2階にあるオフィスには、遠目にもくつきりと見える緑に白字で「ケアクオリティ」の看板が掲げられています。アナウンサーに憧れたこともあるという代表取締役社長の高橋さんは、さわやかな笑顔と美声で話してくれました。

高橋さんは2002年に三島市に株式会社日本ケアクオリティを設立して以来、静岡県東部を中心に数多くの認知症対応型共同生活介護（グループホーム）を開拓してきました。3年前、念願のオーナー会社として株式会社ケアクオリティを設立、事務所を再編成し、現在はグループホームを6カ所、介護付き有料老人ホームとデイサービスを各々運営しています。

「私が他の人より秀でていることがあるとすれば、それは出会いの運でしょうね。いい人間関係



に恵まれましたから」と謙虚に語る高橋さんが起業を目指したのは学生時代からでした。大学

卒業後は静岡県社会福祉協議会や病院勤務などで経験を積み、2000年に介護保険制度が整ったのを機に、会社組織として開業したいと行動に移しました。

「街の中。暮らしの場。 をポリシーに

特に医療ソーシャルワーカーとして勤務した介護療養型医療施設（老人病院）では、家族から多くの相談を受け、社会のニーズをダイレクトに感じたといいます。従来の特別養護老人ホーム（特養）や老人病院ではできかねる心理的なケアの場として、高橋さんは小規模のグループホーム事業に着目しました。グループホームといふのは、街の中にあって認知症の人々にスタッフが寄り添い見守りつつ、日常生活を取り戻してもらうための仕組みです。高橋さんの情熱と共に、

「私が他の人より秀でていることがあるとすれば、それは出会いの運でしょうね。いい人間関係が寄り添い見守りつつ、日常生活を取り戻してもらうための仕組みです。高橋さんの情熱と共に、

「グループホームや有料老人ホームを運営していますが、介護職員が増えれば資金繰りや人間関係の調整など労務上の負担も増えます。でも、世の中に必要なものを仕事にできることは幸せです。生きている実感がありますね」。経営者として苦労はうかがえるものの、高橋さんの口調は明るいものでした。

世の中に必要なものを 仕事にできる幸せ

感して、長期の賃貸借を条件に建物を新築してくれる人や、人材の確保に力を貸してくれる人が現れ、そこから事業展開が始まりました。「街の中。暮らしの場。」という会社のキャッチフレーズは、創設当時から変わらず引き継がれているポリシーです。



事業の司令塔となるオフィス

「そもそも福祉の単科大学である日本社会事業大学に入学するのは、自ら意志を持つて来る学生ばかりです。私自身もそうですが、この大学は、福祉の世界で将来何をするのかを常に考え、語り合う場所でした。そういった大学の風土というか環境の中に身を置くことが重要なではないでしょうか。これはまさに総合大学では得ることができる貴重な時間です」。

当時の同級生には、他の大学を中退して再入学してきた学生や親子2代に渡る学生もいました。先輩後輩含めて人間関係を大事にする気質の学生が多いの

要なのではないでしょうか。これはまさに総合大学では得ることができる貴重な時間です」。

時間が迫るのになかなか提出に来ない私を、友人達が心配して待っていてくれたこともあります。温かい思いやりにあふれた濃い人間関係を形成できる大学なのです。長い歴史があるだけに、福祉の世界には卒業生も多くの人脈も広がり、今の仕事に生きているといいます。

人生には無駄なことは一つもない そしてまた、リスクのない人生もないのだ

起業したいという意志を持ち、自ら学び取ろうとする姿勢さえあれば、きっかけや出会いはいくらでもあります。高橋さんにとってそれは日本社会事業大学であり、大学での先生や友人達でした。「学生時代は幅広く学び出会いを大切にすること。10年、20年後という長いスタンスで物事を考え、そのためのセンス・感性を磨くこと。日本社会事業大学もその『感性を磨く場』のひとつでしょう。自分がやりぬく気持ちが大切です。明確な思いと意志があれば叶うと思います」。

熱い思いの一方で、経営者としては厳しい視点も必要です。高橋さんは、グループホーム事業の司令塔となるオフィス

福祉の世界に卒業生 多く人脈も広がる

が共通点だったそうです。

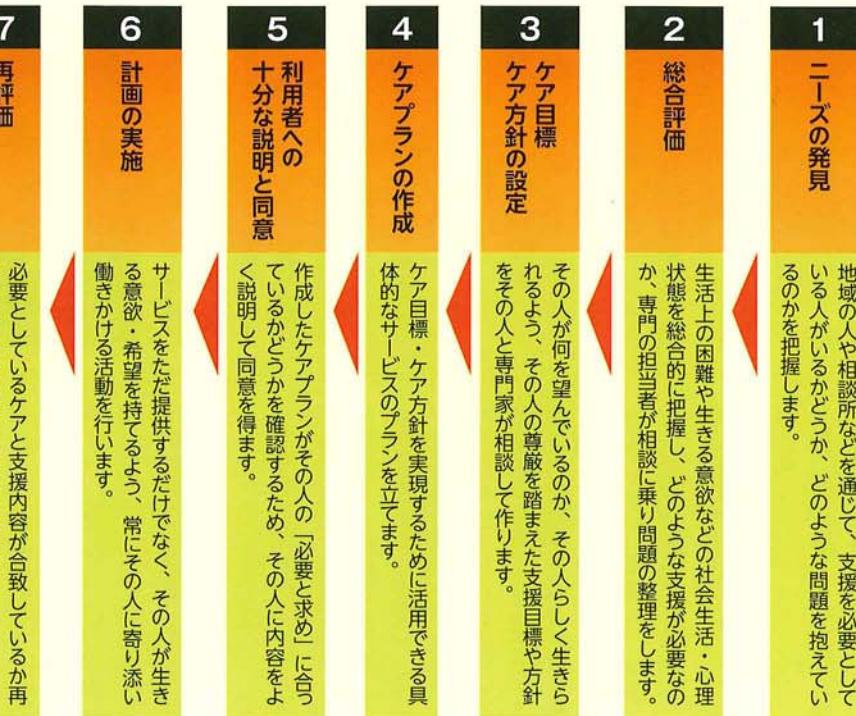
ソーシャルワーカーって何？

ソーシャルワーカーは、社会福祉の専門家です。障害のある人や高齢者などを直接支援したり、支援が必要ならいろいろな社会制度を活用したり、家族や周囲にも協力を働きかけたりして問題解決を図るのがおもな仕事です。ここでは、ケアマネジメントのプロセスについて、ソーシャルワーカーの仕事の大まかな流れを紹介します。

地域の人や相談所などを通じて、支援を必要としている人がいるかどうか、どのような問題を抱えているのかを把握します。



株式会社 ケアクオリティ 介護付き有料老人ホーム アレンジメントケア桜ヶ丘（全50室）



今ある制度や支援（サービス）では対応できない場合には、新しいサービスを起業したり制度化への提案をしていくこともソーシャルワーカーの重要な役割の一つです。